



注意 ホスピタリティ業界の従業員

2026年01月01日～2026年12月31日に有効な最低賃金率

New York City

大企業 (従業員数11名以上)		小規模事業者 (従業員10人以下)	
最低賃金	17.00 ドル	最低賃金	17.00 ドル
40時間を超えた場合の残業代 25.50ドル		40時間を超えた場合の残業代 25.50ドル	
ファストフード労働者	17.00ドル	ファストフード労働者	17.00ドル
40時間を超えた場合の残業代	25.50ドル	40時間を超えた場合の残業代	25.50ドル
*サービス従業員	14.15ドル	*サービス従業員	14.15ドル
40時間を超えた場合の残業代	22.65ドル	40時間を超えた場合の残業代	22.65ドル
リゾート - 最低限のチップ	9.55ドル	リゾート - 最低限のチップ	9.55ドル
その他 - 最低限のチップ	3.65ドル	その他 - 最低限のチップ	3.65ドル
*フードサービス労働者	11.35ドル	*フードサービス労働者	11.35ドル
40時間を超えた場合の残業代	19.85ドル	40時間を超えた場合の残業代	19.85ドル

Long Island および Westchester County

最低賃金	17.00 ドル
40時間を超えた場合の残業代 25.50ドル	
ファストフード労働者	17.00ドル
40時間を超えた場合の残業代	25.50ドル
*サービス従業員	14.15ドル
40時間を超えた場合の残業代	22.65ドル
リゾート - 最低限のチップ	9.55ドル
その他 - 最低限のチップ	3.65ドル
*フードサービス労働者	11.35ドル
40時間を超えた場合の残業代	19.85ドル

New York State の残部

最低賃金	16.00 ドル
40時間を超えた場合の残業代 24.00ドル	
ファストフード労働者	16.00ドル
40時間を超えた場合の残業代	24.00ドル
*サービス従業員	13.30ドル
40時間を超えた場合の残業代	21.30ドル
リゾート - 最低限のチップ	9.00ドル
その他 - 最低限のチップ	3.40ドル
*フードサービス労働者	10.70ドル
40時間を超えた場合の残業代	18.70ドル

ご質問があるか、または苦情を申し立てる場合は、www.labor.ny.gov/minimumwage をご覧になるか、以下までお電話ください: **1-888-469-7365**.

上述の最低賃金よりも給与が下回る要因となる税金控除と手当:

- **チップ** - 雇用主は、あなたの賃金を抑えるために、限られた金額のチップを使用することができます。これは、チップクレジットと呼ばれています。あなたの雇用主は、あなたのチップと賃金の合計が少なくとも *最低賃金になる場合にのみ、チップクレジット徴収することができます。雇用主は、それでも、少なくとも上述した賃金率を支払わなければなりません。
例外: 配達員を含めたファストフード従業員が、1週間の平均チップが上記の最低時給額を下回るサービス従業員からは、チップクレジットを徴収することはできません。チップクレジット額は、残業時間についても同様です。
- **食事と宿泊** - あなたの雇用主は、あなたに何も請求しない限り、提供した食事と宿泊に対して、あなたの賃金から限られた額を徴収することができます。金額や要件は、賃金命令と概要で定められており、オンラインで閲覧することができます。

上述の最低賃金に付加して支給される場合がある割増賃金:

- **時給と残業代** - (給与か日当でなく、) 時給で支給する必要があります。そして、あなたは、週40時間 (住宅勤務の場合は44時間) を超える労働時間に対しても、通常の賃金の1.5倍 (上述の金額を下回らない) の支給を受ける必要があります。
例外: 有給の専門職が、週給が最低賃金率の75倍以上の役員と管理職の場合は、時間給と残業代は必要ありません。
- **コールイン・ペイ** - 雇用主の都合で早上がりさせられた場合は、その日の最低賃金額の時間外手当を受け取ることができます。
- **就業時間 (休憩時間を含む)** - 就業時間が10時間を超える場合、日当に割増賃金に加えた金額が支給されます。一日当たりの割増賃金は、最低賃金の1時間分の賃金に相当します。
- **ユニフォームのメンテナンス** - 自分でユニフォームをクリーニングした場合、追加の週給の支給を受けられる場合があります。週当たりの加算額は、オンラインでご確認いただけます。